

社会資本総合整備計画 事後評価シート

(賑わいの都市部エリア再構築)

令和4年3月

長野県駒ヶ根市

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	賑わいの都市部エリア再構築										
計画の期間	平成26年度～令和元年度（6年間） ※実施期間は平成26年度～令和2年度（7年間）									重点配分対象の該当	○
交付対象	駒ヶ根市										
計画の目標	大目標：都市部エリアへの都市機能の集約により、中心拠点区域の活力と賑わいを創出する。 小目標①：保育園と子育て世代活動支援センターの整備による新たな都市機能の充実を図る。 小目標②：交通網の整備による交通利便性の向上を図るとともに、歩行者にとって優しい歩行空間の充実を図る。 小目標③：災害に強く、安全安心で快適に暮らせるまちづくりを推進する。										
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,805.0	A	2,780.1	B		C	24.9	D	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C+D）	0.90%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26	H29	R1
1	「安心して子育てできる支援が整っている」の市民満足度ポイント（pt）			
	駒ヶ根市市民満足度調査により「安心して子育てできる支援が整っている」の満足度を算出する。	3.11pt	3.21pt	3.32pt
2	子育て世代活動支援センターの利用者数（人数／年）			
	子育て世代活動支援センター整備による年間利用者数を算出する。	0人/年	0人/年	5,000人/年
3	「安心して子どもを預けられる環境がある」の市民満足度ポイント（pt）			
	駒ヶ根市市民満足度調査により「安心して子どもを預けられる環境がある」の満足度を算出する。	3.07pt	3.20pt	3.34pt
4	「地域に安心できる防災の仕組みがある」の市民満足度ポイント（pt）			
	駒ヶ根市市民満足度調査により「地域に安心できる防災の仕組みがある」の満足度を算出する。	3.15pt	3.19pt	3.30pt
5	公民館年度利用者延べ数を H24～H28年度の平均値 43,233人を維持する。			
	地域交流センター整備による年間利用者を算出する	41,703人	-	43,233人/年
6	つくし園への通所者延べ数を H24～H28年度の平均値 3,150人を維持する。			
	社会福祉施設整備による年間利用者数を算出する	3,150人	-	3,150人/年

備考等	個別施設計画を含む		国土強靱化を含む		定住自立圏を含む		連携中核都市圏を含む		流域水循環計画を含む		地域再生計画を含む	

A 基幹事業																						
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）						全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
													H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2			
		一体的に実施することにより期待される効果																				
		備考																				
都市再生整備計画事業	1-A-1	都市再生整備計画	一般	駒ヶ根市	直接間接	駒ヶ根市	-	都市再生	賑わいの都市部エリア地区都市再生整備計画事業	区域面積：115.7ha 高次都市施設 中心拠点誘導施設 地域生活基盤施設	駒ヶ根市									2,780.1	1.11	○

B 関連社会資本整備事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）						全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
-	-																			

C 効果促進事業																					
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）						全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2			
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
地域創造支援事業	1-C-1	地域創造支援	一般	駒ヶ根市	直接	駒ヶ根市			駒ヶ根駅前広場計画策定	交通結節と駒ヶ根駅前広場計画策定	駒ヶ根市								4.1	-	-
		(1-A-1) と一体的に実施することにより、歩行者にとって優しい歩行空間の形成への効果が期待できる。																			
	1-C-2	地域創造支援	一般	駒ヶ根市	直接	駒ヶ根市			無電柱化に伴う 広小路沿道街並み計画策定	街並み計画策定	駒ヶ根市								4.2	-	-
		(1-A-1) と一体的に実施することにより、活力と賑わいあふれるまちづくりへの効果が期待できる。																			
	1-C-3	地域創造支援	一般	駒ヶ根市	直接	駒ヶ根市			まちづくり計画調査	持続可能なまちづくり計画調査	駒ヶ根市								12.9	-	-
		(1-A-1) と一体的に実施することにより、活力と賑わいあふれるまちづくりへの効果が期待できる。																			
	1-C-4	地域創造支援	一般	駒ヶ根市	直接	駒ヶ根市			都市機能施設等 評価分析に関する調査	都市機能施設等分析に関する調査	駒ヶ根市								3.7	-	-
(1-A-1) と一体的に実施することにより、都市機能の集約に向けた都市機能施設等の整備への効果が実現できる。																					

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																					
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）						全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30	R1				R2
												一体的に実施することにより期待される効果									
		備考																			
-	-																				

事 後 評 価			
○事後評価の実施体制、実施時期			
事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
「駒ヶ根市社会資本整備総合交付金評価委員会設置要綱」に基づき事後評価を実施する。		令和３年11月	
		公表の方法	
		駒ヶ根市公式ホームページにおいて公表する。	
○事業効果の発現状況			
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		基幹事業では経塚保育園及び子育て支援センターは市民満足度の目標値は達成できなかったが、計画策定時と比較すると市民満足度は向上している。また、施設利用者数については目標値を達成しており、乳幼児とその保護者の皆さんが気軽に集う遊び場、交流の場としての機能、また、育児相談等の機能を十分発揮していることから、一定の事業効果が発現していると判断した。 防災機能面では、施設再整備等により、災害時の拠点施設としての機能が向上したことから、目標値を大きく上回る事業効果が発現している。 一方で、地域交流センター及びつくし園においては、令和2年7月にオープンした当初から、新型コロナウイルス感染症による利用制限等により、利用者数は大幅な減少となっているため、感染症が収束するまでの当面の間は、目標達成は困難な状況であると考ええる。なお、関連する市民満足は向上しているため、一定の事業効果が発現していると判断した。	
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）		都市部エリアへの都市機能の集約、中心拠点区域の活力と賑わいを創出するため、広小路沿道街並み計画調査では、魅力ある市街地や観光地の空間の質を高めるため、無電柱化に対するアンケート調査やワークショップを行った結果、地域が一体となって講演会、先進地施設、勉強会などを通じた取組みを継続して実施している。また、まちづくり計画調査では、JR駒ヶ根駅前周辺の中心市街地で行う「おもてなし」について、ハード・ソフトの両面から調査・検討を行い、まちづくり勉強会などから発した「こまがねテラスプロジェクト」により各個店でホスピタリティを高める取り組みを、地方創生を推進するための事業として位置付け、現在も継続的に取り組みを進めている。	
○特記事項（今後の方針等）			
駒ヶ根駅前広場を中心とする集約型都市構造の構築に向けて、中心市街地再生と観光客のおもてなしに寄与するよう、テーマやターゲットを明確にしたうえで、「生涯活躍のまちづくり」と一体的に、中心市街地の活性化を図り、更なる賑わいの創出を行う必要がある。また、新たに整備された地域交流センターを活用し、住民とのつながりをより一層深めるとともに、市民が主体的に行う活動を支援しながら「市民が主役のまちづくり」を進める必要がある。			

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	「安心して子育てできる支援が整っている」の市民満足度ポイント（pt）		
	最 終 目標値	3.32pt	目標値は達成できなかったが、市民満足度は向上しており、また、「指標２」の施設利用者数については目標値を達成しているため、一定の事業効果が発現していると判断した。
	最 終 実績値	3.28pt (R3)	
2	子育て世代活動支援センターの利用者数（人数／年）		
	最 終 目標値	5,000人/年	乳幼児とその保護者の皆さんが気軽に集う遊び場、交流の場としての機能、また、育児相談等の機能を十分発揮していることから、目標値を大きく上回る事業効果が発現していると判断した。
	最 終 実績値	6,212人/年 (R3)	
3	「安心して子どもを預けられる環境がある」の市民満足度ポイント（pt）		
	最 終 目標値	3.34pt	目標値は達成できなかったが、市民満足度は向上しており、一定の事業効果が発現していると判断した。
	最 終 実績値	3.26pt (R3)	
4	「地域に安心できる防災の仕組みがある」の市民満足度ポイント（pt）		
	最 終 目標値	3.30pt	施設再整備等により、災害時の拠点施設としての機能が向上したことから、目標値を大きく上回る事業効果が発現していると判断した。
	最 終 実績値	3.47pt (R3)	
5	地域交流センター年間延べ利用者数（人／年）		
	最 終 目標値	43,233人/年	令和2年7月にオープンした当初から、新型コロナウイルス感染症による利用制限等により、利用者数は大幅な減少となっているため、感染症が収束するまでの当面の間は、目標達成は困難な状況であると考ええる。 なお、関連する市民満足（「図書館や公民館などの利用環境が整っている」H23：3.63pt→R3：3.71pt）は向上しているため、一定の事業効果が発現していると判断した。
	最 終 実績値	32,221人/年 R3(R2.7～R3.6)	
6	つくし園年間延べ利用者数（人／年）		
	最 終 目標値	3,150人/年	令和2年7月にオープンした当初から、新型コロナウイルス感染症による利用制限等により、利用者数は大幅な減少となっているため、感染症が収束するまでの当面の間は、目標達成は困難な状況であると考ええる。 なお、関連する市民満足（「安心して子育てできる支援が整っている」H23：3.11pt→R3：3.28pt）は向上しているため、一定の事業効果が発現していると判断した。
	最 終 実績値	2,469人/年 R3(R2.7～R3.6)	

計画の名称	賑わいの都市部エリア再構築		
計画の期間	平成26年度～令和元年度（6年間）	交付対象	駒ヶ根市

